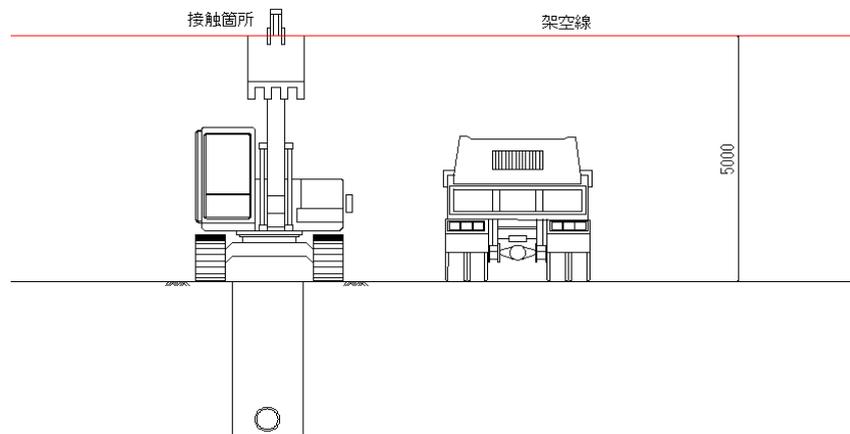


# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 2月 1日(土曜日) 11時 10分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	建設機械等	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	架空線ゆるみ			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	管布設工事						
事故概要	バックホウで掘削した土砂をダンプトラックに積み込み時にアームが架空線に接触したもの						
事故原因	合図者の合図方法について関連作業員全員で意思統一ができていなかった。 架空線に視認しやすい手当を行っていなかった。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械運転時の安全確認、合図者の合図方法等を各関係作業員に再度周知を行った。</li> <li>・架空線カバーを設置した。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

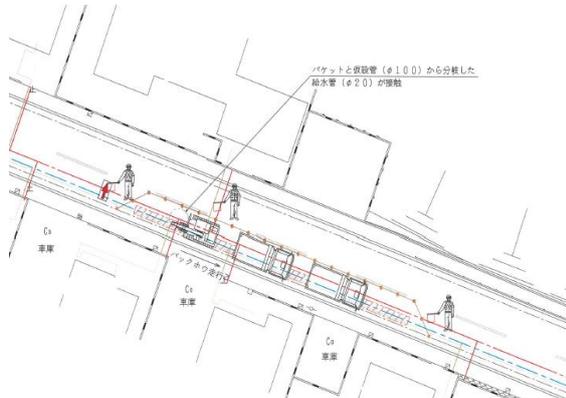


防護カバー設置

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年2月1日(土曜日) 10時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	仮設給水管(φ20mm)を破損			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	配水管布設するために、バックホウ(重機)による掘削作業中に仮設給水管(φ20mm)を破損したものの。						
事故原因	事前に仮設配水管と被災した継ぎ手部分を露出させたくて、バックホウ(重機)により掘削を行い、アームを上げ、旋回して背後のダンプトラックに積み込みながら作業を順次進めていた。そして、重機の周囲には安全を確認するため監視員を1名配置していた。しかしながら事故発生時は、バックホウのオペレーターがアームを上げておらず、また、監視員が重機の周囲の安全を十分に把握していなかったため、重機が後進した際に露出していた継ぎ手部分にバケットが接触し、仮設給水管を破損させたものである。						
改善策	毎日のKY活動等において、作業に応じた機械の安全な操作方法や監視員の合図の方法、そして、危険が予想される箇所について作業員全員に周知と再確認を必ず行い、再発防止に努めるように指導を行った。						

## 事故状況図



## 改善状況図

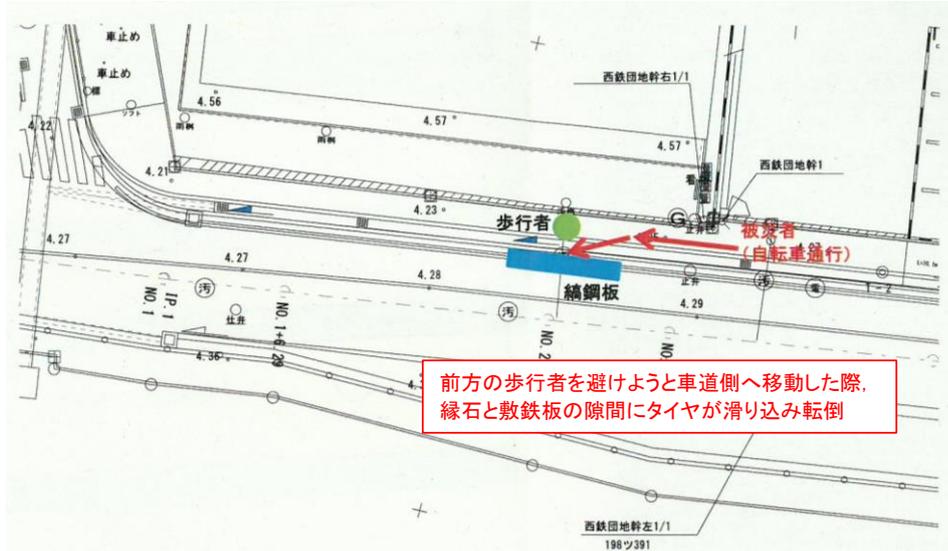


再発防止に向けた安全訓練を実施

# 公共工事等事故情報

事故分類	死傷公衆災害	発生日時	令和 2年 2月 1日(土曜日) 19時30分			工事関係者区分	
事故区分	転倒	性別	男性	年齢	20	業種区分	土木
被災程度	打撲			事故レベル	II	休業見込日数	0
工事概要	舗装工事						
事故概要	歩車道境界付近に側溝を布設する作業中に敷鉄板を設置していたところ、そこを通行した自転車のタイヤが縁石と敷鉄板の隙間に滑り込み、当該自転車が転倒して乗っていた市民(被害者)が負傷(打撲)した。						
事故原因	歩車道境界際に側溝を布設中で敷鉄板を設置していたが、歩車道縁石と敷鉄板の段差すり付けが不十分であった。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷鉄板設置時は常温合材等で段差をすり付け。</li> <li>鉄板自体をセーフティコーン・コーンバー・コーンライト等を設置し囲い、歩行者の進入及び車両の乗り上げを防止。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

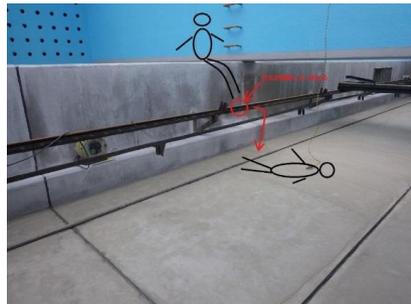
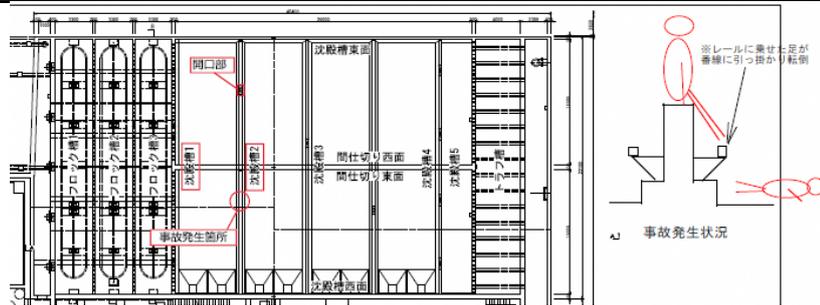


常温合材ですり付け及びセーフティコーン・コーンバー・コーンライト等により敷鉄板を囲い込み

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 2年 2月 4日(火曜日) 11時30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	転倒	性別	男性	年齢	22歳	業種区分	建築
被災程度	打撲	事故レベル		I	休業見込日数	0日	
工事概要	浄水場内沈澱池防水工事						
事故概要	浄水場の防水工事で沈澱池内を移動中に足を乗せたレールに緊結された番線に足元が引っ掛かり転倒し、打撲した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昇降用の階段が無かった事</li> <li>・移動の際に腰壁の上を越えて移動した事</li> <li>・番線に引っ掛かりがあった事</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立馬を設置して安全に移動と昇降が出来る設備を設置する。</li> <li>・槽間の移動については腰壁の開口を使用するよう作業者全員に周知徹底し作業を行う。</li> <li>・番線に養生をして引っ掛かりが無い様にする。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図



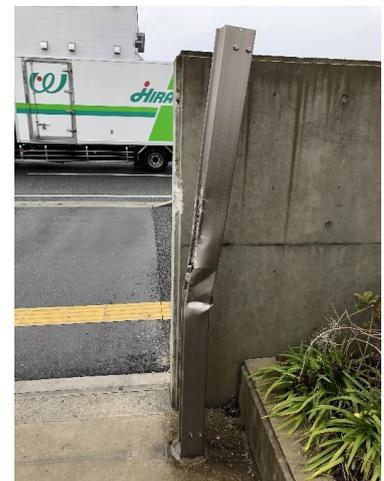
# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年 2月 12日(水曜日) 12時 50分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	アルミゲート支柱及びコンクリート塀損傷		事故レベル	I		休業見込日数	—
工事概要	建物増築工事						
事故概要	本件は場内での鉄骨資材の荷下ろしを終えた工事車両(10tトラック幅2.49m長さ11.99m)が、工事車両出入口から左折により公道に出る際に車体の後方右側が門扉に接触して当該門扉を破損させた案件である。						
事故原因	事故当時、当該車両が公道に出ようとした際、出入口付近左側にトラックが路上駐車していたため、これをできるだけ避けて出車しようと右側に寄りすぎたため車体後方右側が門扉に接触したものである。また、当該出入口には誘導員を配置していたが、誘導員も路上駐車トラック側に気を取られ車体後方の安全確認ができていなかったものである。						
改善策	<ol style="list-style-type: none"> <li>毎朝のKY活動や災害防止協議会等を通じて、全ての誘導員及び工事用車両の運転手、また作業員に対して事故内容を周知し、安全確認を徹底させた。</li> <li>出入口部分に駐車車両があり、受注者だけで対応できない場合は、監督員や施設管理者等と連携して移動を依頼する協力体制を図った。</li> </ol>						

## 事故状況図

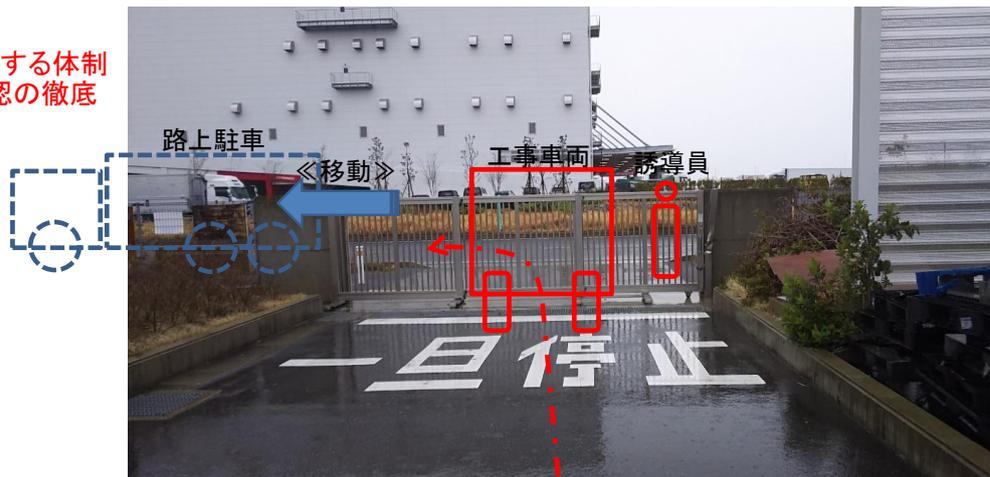


[ 拡大 ]



## 改善状況図

駐車車両の移動に対する体制  
誘導員等の安全確認の徹底



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年2月14日(金曜日) 15時00分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	煙損(建物に煙の煤が付着)			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	塔体の外部鉄骨の塗装など						
事故概要	作業用足場内で行っていた溶接作業の火花が養生用ホリフィルムに引火し、溶けたフィルムが足場の開口部を伝って延焼が広がったもの						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶接作業者が作業場所を移動した際に周辺の可燃物の状況確認を怠った</li> <li>・溶接作業と塗装作業を上下で作業していた</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶接作業の一部について火を使わない工法に変更</li> <li>・溶接作業の可燃物確認に元請け技術者が立ち合う</li> <li>・溶接作業と塗装作業の上下作業の禁止と下段に監視員を追加配置</li> <li>・下請けの作業者全員へ今回火災の情報共有し、及びKY活動実施</li> <li>・消防局指導により、避難誘導・消火器操作訓練の実施</li> </ul>						

## 事故状況図



溶接作業状況



養生材延焼状況

## 改善状況図



避難誘導訓練



消火器操作訓練

# 事故・改善報告書

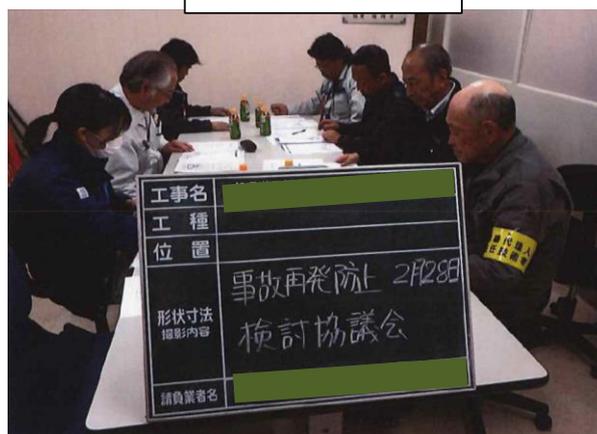
事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 2月18日(火曜日) 13時50分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	墜落・転落	性別	男性	年齢	50	業種区分	土木
被災程度	多発骨折(全治6ヶ月)			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	6ヶ月
工事概要	道路改良工事						
事故概要	バックホウにて仮設材を大型トラックに積込中、台木を設置せずに鋼材を積み込んだためナイロンスリングが鋼材の下敷きとなった。ナイロンスリングを引き抜こうとした際に作業員がバランスを崩し、トラックの荷台から転落したものの。						
事故原因	台木設置の作業を怠り鋼材を設置した上、そのまま作業を継続したため。						
改善策	再発防止検討協議会にて今回の事故状況・問題点について共有するとともに作業手順の順守の重要性を作業員へ周知した。 併せて、日々のKY活動や安全訓練にて作業手順の確認を行うよう指導した。						

## 事故状況図



## 改善状況図

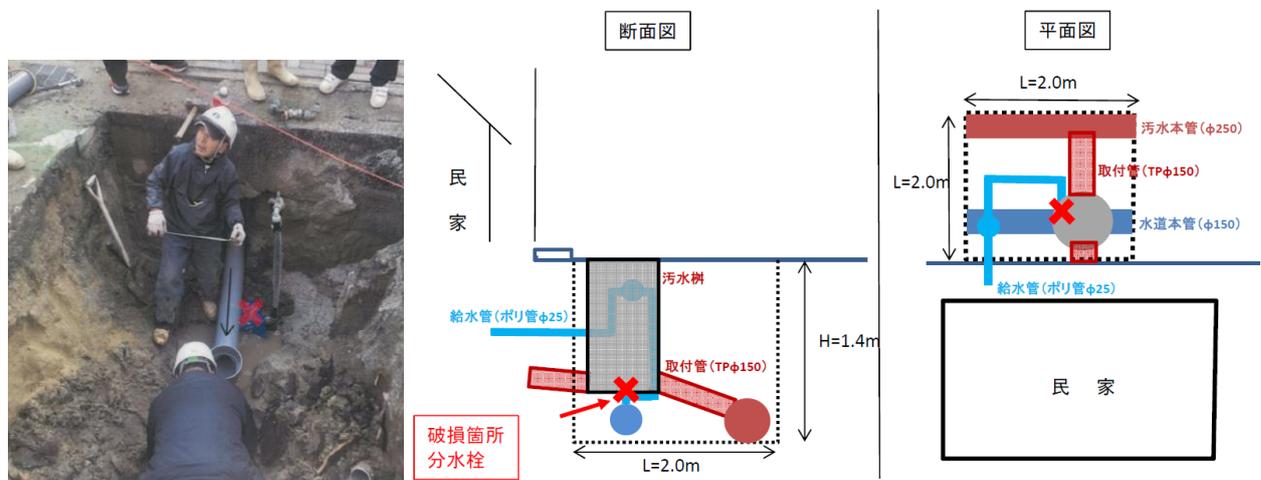
再発防止検討協議会  
実施状況



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年2月24日(土曜日) 10時00分頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	水道給水管(分水栓)損傷			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	下水道工事(側溝布設)						
事故概要	バックホウを用い汚水樹基礎の撤去作業を行っていた時に汚水樹基礎の下にあった水道給水管(分水栓)を破損させた案件である。						
事故原因	水道管理図に明記されている給水管であり、分水栓の位置に多少の差異はあったものの、給水管は露出させていたことから、当該箇所を取壊しには十分注意して施工しなければならないが、施工業者の不注意が原因であると考えられる。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故後再発防止研修の実施。</li> <li>・埋設管横50cm程度の掘削時はスコップで人力にて慎重に行い、埋設管付近の構造物の撤去時には電動ピックを使用し取壊しを行う事とした。</li> </ul>						

## 事故状況図



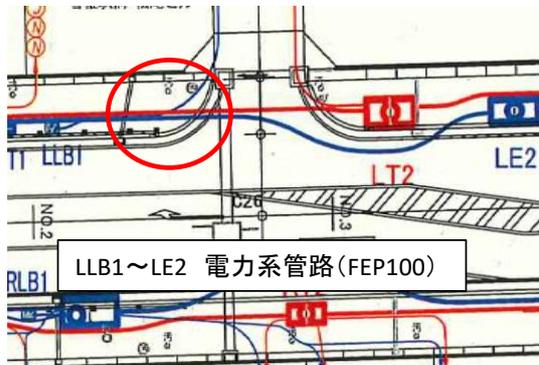
## 改善状況図



# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年2月21日(金曜日) 14時30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	電線共同溝管路(FEP100)を破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	道路照明灯設置工事						
事故概要	アースオーガを用いて照明灯基礎部の掘削を行っていたところ、深度約80cmの位置に埋設されていた共同溝管路(FEP100)を損傷させた。						
事故原因	埋設管があることは、認識していたが、埋設シートが出てこなかったところから、埋設物がないと判断し、アースオーガでの掘削を継続した。詳細な確認不足により発生したものとする。						
改善策	安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。 ・地下埋設物付近を掘削する際は、マーキング箇所が実際の埋設位置と離れていることを想定したうえで、人力にて慎重に掘削し、確認を行う。						

## 事故状況図



## 改善状況図

安全訓練実施状況

